



2019年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <http://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785
 定時株主総会開催予定日 2020年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年3月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年12月期の連結業績（2019年1月1日～2019年12月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	580	98.2	117	—	109	—	133	—
2018年12月期	292	15.3	△786	—	△796	—	△748	—

（注）包括利益 2019年12月期 107百万円（—%） 2018年12月期 △803百万円（—%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年12月期	5.07	—	10.0	5.4	20.2
2018年12月期	△28.51	—	△46.0	△32.2	△268.4

（参考）持分法投資損益 2019年12月期 ー百万円 2018年12月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	1,981	1,408	70.3	53.02
2018年12月期	2,073	1,300	60.8	47.95

（参考）自己資本 2019年12月期 1,393百万円 2018年12月期 1,259百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	175	△100	△120	1,540
2018年12月期	△540	△7	—	1,584

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310	△46.6	△290	—	△310	—	△240	—	△9.13

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年12月期	26,275,200株	2018年12月期	26,275,200株
2019年12月期	—株	2018年12月期	—株
2019年12月期	26,275,200株	2018年12月期	26,269,262株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年12月期の個別業績（2019年1月1日～2019年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	549	89.7	177	—	172	—	171	—
2018年12月期	289	17.8	△655	—	△666	—	△970	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期	6.53	—
2018年12月期	△36.94	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2019年12月期	1,932	1,370	1,370	1,198	70.9	52.15	52.15	
2018年12月期	1,965	1,198	1,198	1,198	61.0	45.61	45.61	

(参考) 自己資本 2019年12月期 1,370百万円 2018年12月期 1,198百万円

2. 2020年12月期の個別業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	290	△47.2	△140	—	△140	—	△5.33	△5.33

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. 個別財務諸表及び主な注記	13
(1) 貸借対照表	13
(2) 損益計算書	15
(3) 株主資本等変動計算書	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、輸出や生産を中心に弱さがみられるものの、景気は緩やかな回復傾向となりました。一方で、通商問題の動向や海外経済の不確実性等により、先行き不透明な状況が続いております。

国内医薬品業界におきましては、医薬品使用量は増加傾向にあるものの、薬価引下げや後発医薬品への切り替えの加速等が進み、国内の事業環境は厳しさを増しております。各社はパイプライン拡充や他社との協業等、競争力強化に向けた取り組みを進めております。

このような状況の下、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

自社創製品につきましては、「グラナテック®点眼液0.4%（一般名：リパスジル塩酸塩水和物、開発コード：K-115、ライセンスアウト先：興和株式会社（以下、「興和」））（以下、「グラナテック」）」が緑内障・高眼圧症を適応症として国内上市されており、販売状況は順調に推移しております。海外については、2月に韓国における輸入薬許可（日本における製造販売承認に相当）を取得され、アジア4ヶ国へも順次承認申請されました。さらに、8月に同剤の有効成分であるリパスジル塩酸塩水和物について、角膜内皮障害（フックス角膜内皮変性症）を適応症とした米国第Ⅱ相臨床試験が開始されました（開発コード：K-321）。また、「H-1129（WP-1303）（ライセンスアウト先：わかもと製薬株式会社（以下、「わかもと製薬」））」の緑内障・高眼圧症を適応症とした国内第Ⅲ相臨床試験が1月に開始されておりましたが、長期投与時の安全性が懸念されたことから、9月に開発中止が決定されました。これにより、当社も「H-1129」の海外におけるライセンスアウト活動を終了いたしました。なお、緑内障治療剤「H-1337」については、継続してライセンスアウト活動を進めております。

導入品につきましては、「DW-1002」の欧州等で上市済みの製品（製品名：ILM-Blue®、MembraneBlue-Dual®、適応症：内境界膜剥離、ライセンスアウト先：Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.（以下、「DORC」））の販売状況は順調に推移しております。同剤の米国及びカナダ（製品名：TissueBlue™、適応症：内境界膜剥離）については、DORCによって承認申請が行われ、米国については12月に承認取得されました。同剤の日本（適応症：白内障手術）については、2月にわかもと製薬にライセンスアウトしております。また、眼科用治療剤「DW-1001」については、12月にロート製薬株式会社（以下、「ロート製薬」）にライセンスアウトいたしました。今後は、ロート製薬において開発が進められる予定です。

研究開発プロジェクトにつきましては、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにおいて、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動を行い、また、他社との共同研究を推進いたしました。

以上の結果、売上高につきましては、各種ロイヤリティ収入、「H-1129（WP-1303）」のマイルストーン収入、「DW-1002（白内障手術）」及び「DW-1001」のライセンスアウトによる契約一時金の受領等により、合計580百万円（前期比98.2%増）を計上し、売上原価に25百万円（前期比90.2%増）を計上しました。

販売費及び一般管理費につきましては、437百万円（前期比59.0%減）となりました。その内訳は、研究開発費が249百万円（前期比68.6%減、前期は「H-1337」の米国臨床試験を実施）、その他販売費及び一般管理費がコスト削減施策の効果等により、187百万円（前期比30.5%減）となりました。

これらにより、営業利益は117百万円（前期営業損失786百万円）となりました。また、営業外費用に支払利息5百万円及び為替相場の変動による為替差損1百万円を計上したこと等の結果、経常利益は109百万円（前期経常損失796百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は133百万円（前期親会社株主に帰属する当期純損失748百万円）となりました。

当社株式は、有価証券上場規程第604条の4第1項第1号（関連規則は同第604条の2第1項第2号）に定める上場廃止基準に係る猶予期間入り銘柄となっておりますが、第22期定時株主総会終了後に2019年12月期有価証券報告書を東海財務局長に提出し、営業利益又は営業活動によるキャッシュ・フローが負でないことが確認された時点で、同猶予期間入り銘柄から解除される見込みであります。

なお、当連結会計年度における新薬候補化合物開発状況は次の通りです。

(イ) 自社創製品

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先 ／開発コード
リパスジル 塩酸塩水和物	グラナテック	緑内障・高眼圧症	上市	日本	興和／K-115
			承認	韓国	
			申請	アジア4ヶ国（注1）	
K-321		角膜内皮障害 （フックス角膜内皮変性症）	第Ⅱ相臨床試験	米国	興和／K-321

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先 ／開発コード
H-1337	緑内障・高眼圧症	第Ⅰ相/前期第Ⅱ相 臨床試験	米国	自社開発
K-134 (注2)	—	—	日本	興和/K-134

(注1) シンガポール、マレーシア、ベトナム、タイの4ヶ国になります。

(注2) ライセンスアウト先の興和により、閉塞性動脈硬化症以外の適応症への応用を検討されているため、対象疾患と開発段階は記載しておりません。

(ロ) 導入品

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先 ／開発コード	起源
DW-1002	内境界膜剥離	上市	欧州	DORC	国立大学法人 九州大学
		承認	米国		
		申請	カナダ		
	内境界膜染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬 ／WP-1108	
白内障手術	第Ⅲ相臨床試験	日本			
DW-1001	眼科用治療剤 (非開示)	非臨床試験	日本	ロート製薬	英国企業
未熟児網膜症治療薬	未熟児網膜症	臨床試験準備中	日本	子会社JIT開発	国立大学法人 東京農工大学

(ハ) 研究開発プロジェクト

開発コード等	対象とする疾患等	開発段階
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	眼科関連疾患、神経、循環器、呼吸器系疾患	基礎研究

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末から92百万円減少し、1,981百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から48百万円減少し、1,715百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が43百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から43百万円減少し、265百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が41百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から200百万円減少し、573百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から79百万円減少し、189百万円となりました。主な要因は、期首に未払計上されていたマイルストーン100百万円を支払ったこと等の結果、未払金が104百万円減少した一方で、流動負債のその他が25百万円増加したこと等によるものです。流動負債のその他の増加は、売上高増加に伴い未払消費税等が増加したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から121百万円減少し、384百万円となりました。主な要因は、長期借入金が120百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末から107百万円増加し、1,408百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が133百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は70.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、1,540百万円となりました。

なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は175百万円（前期は540百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が109百万円及び減価償却費44百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は100百万円（前期は7百万円の支出）となりました。これはDW-1002（白内障手術）のライセンスアウトにより、事業譲受による支出（マイルストーンの支払い）100百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は120百万円（前期はありません）となりました。これは長期借入金の返済による支出120百万円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

「グラナテック」「DW-1002（海外）」の販売によるロイヤリティ収入及び「DW-1002（日本）」の承認申請によるマイルストーン収入等を見込んでおり、その結果、売上高は310百万円（当期売上高580百万円）、営業損失は新薬候補品創出に向けた研究開発活動等の費用計上により、290百万円（当期営業利益117百万円）、経常損失は310百万円（当期経常利益109百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は240百万円（当期親会社株主に帰属する当期純利益133百万円）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（第7章及び第8章を除く）」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,584,282	1,540,784
売掛金	70,706	103,523
仕掛品	—	804
貯蔵品	59,475	58,564
その他	49,992	12,105
流動資産合計	1,764,457	1,715,782
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,653	5,653
減価償却累計額	△4,113	△4,330
建物(純額)	1,539	1,322
工具、器具及び備品	86,961	85,724
減価償却累計額	△83,675	△83,918
工具、器具及び備品(純額)	3,285	1,806
有形固定資産合計	4,825	3,128
無形固定資産		
契約関連無形資産	287,999	246,857
その他	3,944	3,054
無形固定資産合計	291,944	249,911
投資その他の資産		
投資有価証券	5,123	5,123
その他	7,403	7,403
投資その他の資産合計	12,527	12,527
固定資産合計	309,296	265,567
資産合計	2,073,753	1,981,349
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払金	130,375	25,788
未払法人税等	2,736	2,892
その他	15,190	40,585
流動負債合計	268,302	189,265
固定負債		
長期借入金	480,000	360,000
その他	25,350	24,000
固定負債合計	505,350	384,000
負債合計	773,652	573,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,762	34,762
資本剰余金	2,133,478	2,133,478
利益剰余金	△908,379	△775,176
株主資本合計	1,259,861	1,393,065
非支配株主持分	40,239	15,018
純資産合計	1,300,101	1,408,083
負債純資産合計	2,073,753	1,981,349

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
売上高	292,924	580,527
売上原価	13,592	25,853
売上総利益	279,332	554,674
販売費及び一般管理費		
研究開発費	795,258	249,362
その他	270,408	187,996
販売費及び一般管理費合計	1,065,666	437,359
営業利益又は営業損失(△)	△786,334	117,315
営業外収益		
受取利息	107	177
有償サンプル代収入	—	122
受取手数料	113	—
補助金収入	367	367
その他	200	10
営業外収益合計	788	677
営業外費用		
支払利息	6,359	5,875
為替差損	3,435	1,932
その他	1,565	606
営業外費用合計	11,360	8,414
経常利益又は経常損失(△)	△796,906	109,578
特別利益		
新株予約権戻入益	1,657	—
特別利益合計	1,657	—
特別損失		
減損損失	6,820	—
特別損失合計	6,820	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△802,069	109,578
法人税、住民税及び事業税	1,567	1,595
法人税等合計	1,567	1,595
当期純利益又は当期純損失(△)	△803,636	107,982
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△54,670	△25,220
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△748,966	133,203

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△803,636	107,982
包括利益	△803,636	107,982
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△748,966	133,203
非支配株主に係る包括利益	△54,670	△25,220

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
当期首残高	3,365,279	3,354,653	△4,720,630	1,999,302	1,657	94,909	2,095,869
当期変動額							
新株の発行	4,762	4,762		9,525			9,525
資本金から剰余金への振替	△3,335,279	3,335,279		—			—
欠損填補		△4,561,217	4,561,217	—			—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△748,966	△748,966			△748,966
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					△1,657	△54,670	△56,327
当期変動額合計	△3,330,516	△1,221,174	3,812,250	△739,440	△1,657	△54,670	△795,768
当期末残高	34,762	2,133,478	△908,379	1,259,861	—	40,239	1,300,101

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	34,762	2,133,478	△908,379	1,259,861	40,239	1,300,101
当期変動額						
親会社株主に帰属する 当期純利益			133,203	133,203		133,203
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					△25,220	△25,220
当期変動額合計	—	—	133,203	133,203	△25,220	107,982
当期末残高	34,762	2,133,478	△775,176	1,393,065	15,018	1,408,083

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△802,069	109,578
減価償却費	51,677	44,192
減損損失	6,820	—
株式報酬費用	6,350	3,175
受取利息	△107	△177
支払利息	6,359	5,875
為替差損益(△は益)	637	△850
新株予約権戻入益	△1,657	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,601	△32,816
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,051	106
未払金の増減額(△は減少)	2,070	△5,050
その他	219,919	58,630
小計	△532,651	182,662
利息及び配当金の受取額	107	177
利息の支払額	△6,342	△5,610
法人税等の支払額	△1,446	△1,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	△540,333	175,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,026	—
有形固定資産の売却による収入	40	—
無形固定資産の取得による支出	△4,584	—
事業譲受による支出	—	△100,000
差入保証金の回収による収入	2,794	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,775	△100,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△120,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△120,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△285	850
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△548,395	△43,497
現金及び現金同等物の期首残高	2,132,677	1,584,282
現金及び現金同等物の期末残高	1,584,282	1,540,784

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

a. セグメント情報

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	米国	合計
157,947	96,921	38,055	292,924

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高
興和株式会社	138,692
Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.	96,921
Glaukos Corporation	38,055

(注) 当社は、単一セグメントであるため、関連するセグメント名は記載しておりません。

当連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	米国	合計
417, 118	88, 317	75, 091	580, 527

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高
わかもと製薬株式会社	209, 187
興和株式会社	157, 903
Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.	88, 317
Glaukos Corporation	62, 906

(注) 当社は、単一セグメントであるため、関連するセグメント名は記載しておりません。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2018年1月1日 至 2018年12月31日）

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり純資産額	47.95円	53.02円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	△28.51円	5.07円

(注) 1 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△748,966	133,203
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△748,966	133,203
普通株式の期中平均株式数(株)	26,269,262	26,275,200

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,486,671	1,396,983
売掛金	68,786	102,977
貯蔵品	55,936	55,025
前渡金	13,970	35
前払費用	24,583	8,489
関係会社短期貸付金	—	100,000
その他	6,347	3,489
流動資産合計	1,656,296	1,667,000
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,539	1,322
工具、器具及び備品	3,285	1,806
有形固定資産合計	4,825	3,128
無形固定資産		
ソフトウェア	3,871	2,981
契約関連無形資産	287,999	246,857
その他	72	72
無形固定資産合計	291,944	249,911
投資その他の資産		
投資有価証券	5,123	5,123
関係会社株式	0	0
その他	7,087	7,087
投資その他の資産合計	12,211	12,211
固定資産合計	308,980	265,251
資産合計	1,965,276	1,932,252
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払金	128,213	21,801
未払費用	3,526	3,454
前受金	5,437	5,213
未払法人税等	956	977
預り金	3,306	3,387
その他	—	23,259
流動負債合計	261,439	178,093
固定負債		
長期借入金	480,000	360,000
その他	25,350	24,000
固定負債合計	505,350	384,000
負債合計	766,789	562,093

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,762	34,762
資本剰余金		
資本準備金	2,134,104	2,134,104
資本剰余金合計	2,134,104	2,134,104
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△970,380	△798,709
利益剰余金合計	△970,380	△798,709
株主資本合計	1,198,486	1,370,158
純資産合計	1,198,486	1,370,158
負債純資産合計	1,965,276	1,932,252

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
売上高	289,431	549,024
売上原価	13,427	14,234
売上総利益	276,003	534,789
販売費及び一般管理費		
研究開発費	704,992	196,592
その他	226,951	161,113
販売費及び一般管理費合計	931,943	357,705
営業利益又は営業損失(△)	△655,939	177,083
営業外収益		
受取利息	105	231
受取手数料	713	3,600
その他	200	132
営業外収益合計	1,018	3,963
営業外費用		
支払利息	6,359	5,875
為替差損	3,435	1,916
その他	1,565	606
営業外費用合計	11,360	8,398
経常利益又は経常損失(△)	△666,281	172,648
特別利益		
新株予約権戻入益	1,657	—
特別利益合計	1,657	—
特別損失		
子会社株式評価損	304,799	—
特別損失合計	304,799	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△969,424	172,648
法人税、住民税及び事業税	956	977
法人税等合計	956	977
当期純利益又は当期純損失(△)	△970,380	171,671

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金合計	繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	3,365,279	3,355,279	—	3,355,279	△4,561,217	△4,561,217	2,159,342
当期変動額							
新株の発行	4,762	4,762		4,762			9,525
資本金から剰余金への 振替	△3,335,279		3,335,279	3,335,279			—
準備金から剰余金への 振替		△1,225,937	1,225,937	—			—
欠損填補			△4,561,217	△4,561,217	4,561,217	4,561,217	—
当期純損失(△)					△970,380	△970,380	△970,380
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	△3,330,516	△1,221,174	—	△1,221,174	3,590,836	3,590,836	△960,855
当期末残高	34,762	2,134,104	—	2,134,104	△970,380	△970,380	1,198,486

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	1,657	2,160,999
当期変動額		
新株の発行		9,525
資本金から剰余金への 振替		—
準備金から剰余金への 振替		—
欠損填補		—
当期純損失(△)		△970,380
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,657	△1,657
当期変動額合計	△1,657	△962,512
当期末残高	—	1,198,486

株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所(4576) 2019年12月期 決算短信

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金	利益剰余金合計		
				繰越利益剰余金			
当期首残高	34,762	2,134,104	2,134,104	△970,380	△970,380	1,198,486	1,198,486
当期変動額							
当期純利益				171,671	171,671	171,671	171,671
当期変動額合計	—	—	—	171,671	171,671	171,671	171,671
当期末残高	34,762	2,134,104	2,134,104	△798,709	△798,709	1,370,158	1,370,158